

(科目コード : 1006620007AA)

【改訂】第27版(2013-04-01)

【科目】近代西洋社会論

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】選択

【学期・単位数】後期・2単位

【対象学科・専攻】生産システム,環境 2年

【担当教員】宮川 剛

【授業目標】

- ・近世・近代ヨーロッパの社会や歴史に様々な角度から光をあてて、世界史におけるヨーロッパの役割、他の地域・文明に与えた影響などをさぐり、現代世界を理解することができる。
- ・現代世界形成に大きな役割を果たしたヨーロッパの歴史的背景について理解を深めることで、グローバル化の時代にならざるにふさわしい教養・認識を身につけることができる。

【授

【教育方針・授業概要】

- ・本科目の総授業時間数は22.5 時間である。
- ・近世・近代ヨーロッパの政治、文化、宗教など、毎回テーマを設定し、講義や資料(英語文献含む)の講読を通じて、基本的な知識を提供する。
- ・講義の内容に関する資料や参考図書を読み込むことで、現代世界の諸問題の歴史的背景を理解する。
- ・レポートの作成などを通じて、自らの考えを論理的に表現する訓練をおこなう。

【教科書・教材・参考書等】

とくに教科書などは利用しない。授業中にプリントなどを配布する。参考図書なども授業中に指示する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式で行う。講義の内容や文献・資料の講読に基づいた小レポートの作成などを授業中に行う。

【メッセージ】

中央公論新社『世界の歴史』シリーズや山川出版社『世界史リブレット』シリーズ(いずれも図書館に所蔵)のヨーロッパを扱った巻を読んでおくことが望ましい。

【成績評価方法】

[後期]期末試験:80%,レポート:20%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、多種多様な人間文化と社会生活を理解するとともに、ものごとに対して多角的観点から考察できる力を涵養する

【授業計画】(近代西洋社会論)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	イントロダクション	西洋近代史概説		
2	歴史学的手法	史料をいかに読むのか。歴史学の対象は何か。		
3~4	宗教改革	中世キリスト教社会との断絶を告げる宗教改革の原因、過程、社会への影響について考察。		
5~6	西洋における国家	中世から近代にかけて、西洋における国家のあり方はいかに変化したか。		
7~8	議会	中世における身分制議会の成立以降、各国で議会制度はいかなる発展・展開を示したか。		
9~10	ヨーロッパの都市	西洋都市社会の特徴について。古代~近代に至る変化の検討、他地域との比較。		
11~12	近代ヨーロッパの家族	ヨーロッパの家族史について。地域ごとの家族形態の特徴。親子関係。歴史のなかの「子供」や「若者」など。		
13~14	「文明化」の過程	ヨーロッパの「文明」観について。マナーの洗練、公衆衛生改革など、近代ヨーロッパの生活環境改善のプロセスについて。		
15	総括	授業の総括		